

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	看護学概論 I (看護の概念)	学 期	前 期	三浦 陽子 (看護教員)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的	これから学ぶ看護学への導入として、看護とは何か、看護の本質と機能および看護専門職の役割と活動について学び、自らの看護に対する興味や関心を高める。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の主要概念を理解する。 2. 健康水準と看護との関連、および看護の機能・役割を理解する。 3. 看護倫理について理解する。 4. 保健医療福祉サービスにおける看護活動の場について理解し、その中における看護職者の役割機能について考察する。 			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	看護学について	学問としての看護、患者中心の看護	講義
	2	看護とは何か	看護とは何かを考える	講義
	3	看護の過去から現在	海外の看護、近代看護、海外及び日本の看護	講義
	4	看護実践における重要な概念	人間について考える	講義
	5	看護の役割と機能 看護実践の方法	健康について考える	講義
	6		看護の役割と機能の理解、保健・医療・福祉の連携	講義
	7		看護技術、看護過程、臨床判断	講義
	8		看護と法、倫理とは、臨床倫理、	講義
	9	看護実践を支えるものの	看護制度、看護行政、看護の周近的な役割	講義
	10	専門職としての看護	専門職としての役割、責任、看護教育	講義
	11	医療安全	医療事故と医療安全	講義
	12	私たちの考える看護	『看護とは』について考える	個人
	13		考えをまとめる	グループ
	14		自分たちの言葉で語ってみる	発表
	15		プレゼンテーションする	発表
教科書	看護学概論 (メヂカルフレンド)、看護者の基本的責務 (日本看護協会出版会)			
参考文献	F. ナイチンゲール, 湯槇ます訳: 看護覚え書き (現代社) V. ヘンダーソン, 湯槇ます, 小玉香津子訳: 看護の基本となるもの (日本看護協会出版会)			
評価方法	試験			
関連科目	人間関係論、生活科学、心理学、社会学、社会福祉と法規、看護関係法規、在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、災害看護と国際協力、看護管理と医療安全			
自己学習に関する指針	該当授業の教科書を事前に読んでおきましょう。 授業で示す課題やグループワークに積極的に参加し、意見交換しましょう。			
その他の通知事項				